

# 働くもののいのちと健康を守る板橋センター

働くもののいのちと健康を守る板橋センター」は、2005年11月17日に結成されました。東京で初めての地域センターとして、働く人々の健康と命を守る相談、学習、支援などの活動を行い、今年で17年を迎えました。

## 1. 活動の目標

働かなくて生きられたら幸せと思われる方も多いでしょう。けれども人間は働くことによって、生きていることを実感できる生き物です。しかし、その労働の在り方は現在、不安定雇用、長時間労働による健康不安が広がり、メンタルヘルス、パワー・セクシャルハラスメントのなどが増加しています。こうした事態は、私たちの心身の健康、ゆとりと尊厳、家族や子供たちから心の豊かや希望を奪うものです。そのため私たちは、誰でも健康で人間らしく働ける職場・社会（ディーセントワーク）を築くことを目指しています。



2022年9月 トラック労働者の働き方を考える



2021年11月 コロナ禍！医療崩壊をくい止める

## 2. 活動の目標

- 健康で人間らしく働ける職場・社会を築くこと。
- 労働安全衛生活動を重視して予防活動を大切にする。
- 労働災害、メンタルヘルス生涯、過労死・過労自殺などの根絶。

## 3. 活動の内容

- 脳・心臓疾患や精神疾患による過労死、うつ病、パワハラ、いじめによる精神疾患、化学物質による職業がんなどの労働災害の認定支援を行っています。

- アスベスト、じん肺などの被災者支援や、法改正運動を行っています。
- 職場の労働安全衛生活動の支援、調査活動を行っています。
- 労働安全教室、セミナーなどの学習活動を行っています。
- 労働、保健行政などの要請、懇談活動を行っています。
- 地域でのいのちと健康を守る活動に参加しています。
- 2カ月1回「板橋センター通信」を発行しています。
- 2カ月1回の理事会、月に1回の事務局会議を行い、年1回の総会を行っています。

## 4. 相談事例/支援事例

板橋では、長い間「防水工事」に携わってきた複数の職人が「膀胱がん」を発症。労働災害の申請を行いました。原因は、建物のウレタン防水材や塗り床材に使用されている芳香族アミンの化学物質「MOCA（モカ）」です。これまでも大工や防水工に膀胱がんが多いことが建設組合の調べで判明していました。

その因果関係については、厚労省が検討会で認め、海外での事例や研究結果から「ばく露期間5年以上」、「潜伏期間10年以上」で発症リスクが高いとされ、労災として認められるとともに時効が延長され、過去の発症も申請できるようになりました。

化学物質による職業がんは、海外では広く認められています。日本では範囲が狭く、政・労・使がそれぞれ取り組みを開始する時機にあると言えます。

### 【一人でお悩みのお力になります】

- 労災・過労死・過労自殺・など、お悩みのお力になります。
- 相談は無料です。
- 秘密は厳守いたします。
- まずは、メールでお気軽にどうぞ！相談フォームを用意しています。

## 働くもののいのちと健康を守る板橋センター

〒174-0051 板橋区小豆沢 1-6-4 アパートメントあずさわ1F

TEL : 03-6380-5638 FAX : 03-3966-6107

E-Mail : [inoken-itabashi@kenbun.org](mailto:inoken-itabashi@kenbun.org)



2022年6月 東京労働安全衛生学校